

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 野楽里

作成日: 令和2年 1月 16日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	・変則勤務により訓練に参加できない職員もいて、夜勤時などの対応が身についていない。 ・備蓄ができていない。	・災害時必要なものを確保するとともに、基本的な対応を身につける。	・飲料や食品の備蓄とランタンなどの非常用の点検を行う。 ・職員全体への机上訓練を行う。 ・11月の「社会福祉施設防災の日」に地域住民に訓練に参加してもらい協力体制を作っていく。	6ヶ月
2	30 (11)	・受診時、職員が同行する入居者に偏りがあり医師と職員の関係が薄い。	・看取りケアの知識を学び、統一した認識で対応できるようにする。 ・円滑な協力体制を確保していく。	・2～3か月に1回、受診時同行し家族・医師・職員との共有を図る。 ・状態変化に早期に気づき、早期にかかりつけ医に相談をする。 ・看取りの勉強会を年1回は必須とし、状況に応じて追加する。外部研修の機会があれば参加する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。